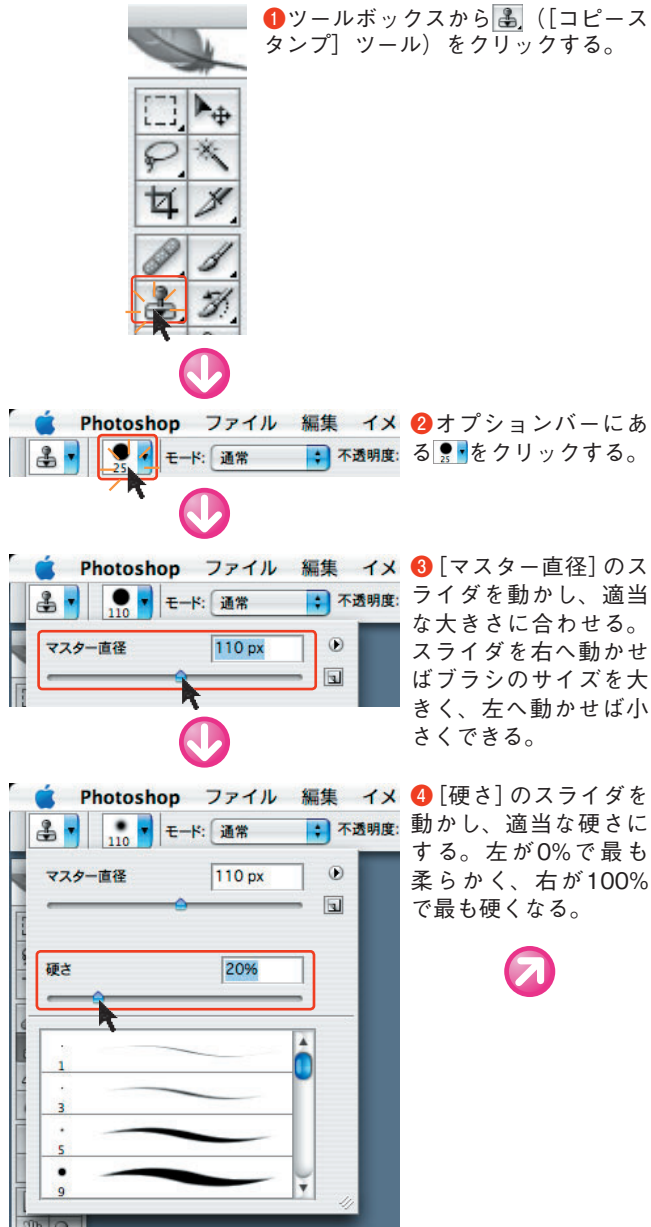


## 5-3 ゴミ・キズ取り

ゴミやキズを取るには「コピースタンプツール」または「修復ブラシツール」を使う。これらのツールを使えば、最初からゴミやキズなど存在していなかったかのように消し去ることが可能だ。

### コピースタンプツール を使う

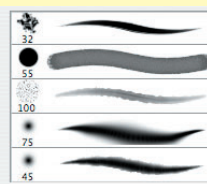


#### ◆ワンポイント

[caps lock] キーが押された状態では、マウスポインタにブラシのサイズや形状が反映されない。必ず無効にしておくこと。

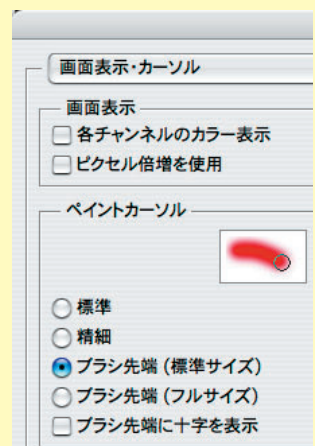
#### ◆ワンポイント

上記④のボックス下部のリストからサイズ・形状・硬さの違うブラシを、サンプルを見ながら選択することもできる。

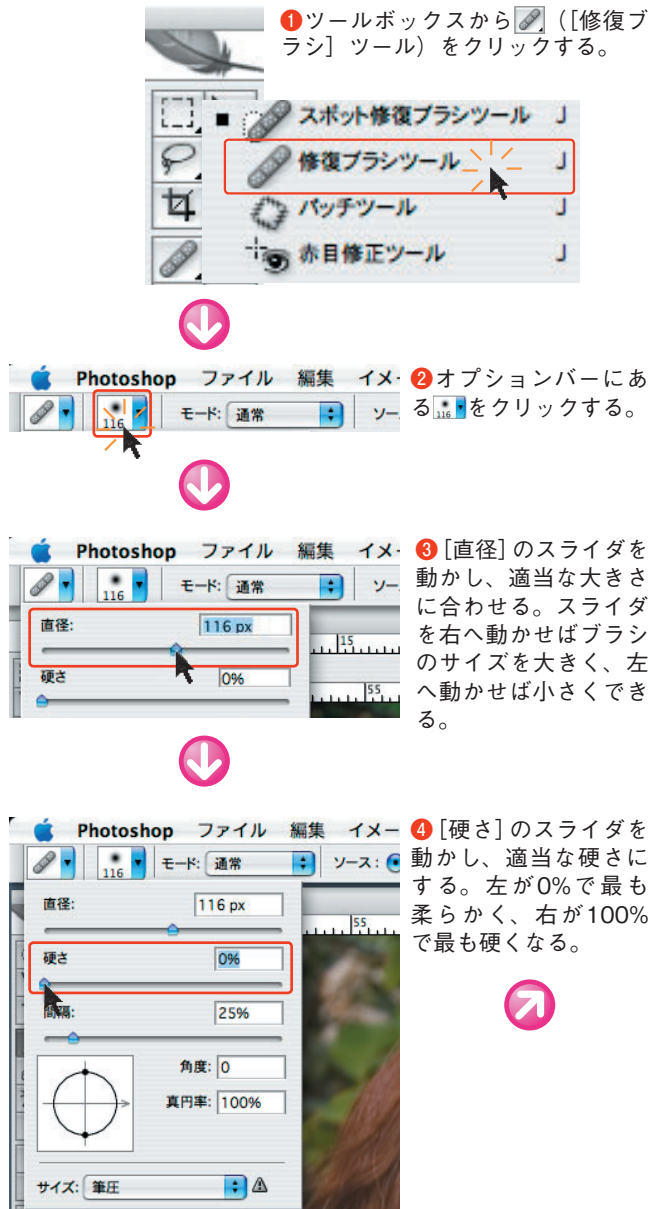


#### ◆ワンポイント

メニューバーから [Photoshop] → [環境設定] の [画面表示・カーソル] 欄で、[ブラシ先端 (標準サイズ) またはフルサイズ] を必ず選択しておく (CSでは [ブラシサイズ])。するとマウスポインタにもサイズや形状が反映されるので、画面の上のどの部分を操作しているのかが分かりやすい (右図参照)。



## 修復ブラシツール を使う



⑤ [option] キーを押しながら上書きする画像をクリックする。



⑥ [option] キーから指を離し、ツールをゴミの上へ移動して、クリックする。⑤でクリックした位置の画像で上書きされ、ゴミが消える。

Photoshopでは、ツールにも「ブラシ (筆)」という概念を用いている。ブラシの直径の数値は、ピクセルで示したものだ。マウスポインタを画像の中に移動すればサイズが感覚的に把握できる。常に同じ大きさで作業するのではなく、変更したい範囲や画像の解像度 (縦横のピクセル数) に応じて適宜変更しながら操作したい。

ブラシの硬さとは、鉛筆やボールペンのように輪郭のくっきりした線が硬く、筆のように周囲がうっすらとぼやける線が柔らかい状態だ。

コピースタンプツールや修復ブラシツールでは、ブラシを柔らかめにしたほうが消去 (上書き) した部分が自然に仕上がる。

コピースタンプツールはゴミやキズの部分を単にコピーした画像で上書きするだけだが、修復ブラシツールで

はその周囲にある画像情報に基づいて自然な感じに仕上げてくれる。

ただし、コピースタンプツールより複雑な処理を行うため、処理速度が若干遅くなる。CPUの処理速度<sup>※1</sup>が遅くメモリの少ない<sup>※2</sup>非力なマシンでは、すいすいと修正できないこともあるだろう。

先述したように、空や壁など一面がほぼ同じ色と階調の場合ならコピースタンプが便利だが、樹木、しわのある布、服の柄など複雑な画像上のゴミやキズを隠すときには修復ブラシが威力を発揮する。

※1 CPUの処理速度は、「～GHz (ギガヘルツ)」という単位で表されるクロック周波数で決まる。一般的に数値が大きいのほど高速な処理ができる。  
※2 パソコンの画像処理では、CPUの処理速度よりメモリの搭載量のほうが重要になる。高速な最新マシンに買い換える前に、メモリを増やすことを考えてもいいだろう。